

様式

会 議 録

会 議 の 名 称		令和 6 年度第 3 回川越市協働事業審査委員会
開 催 日 時		令和 6 年 5 月 2 7 日（月） 午後 2 時 開会 ・ 午後 4 時 2 0 分 閉会
開 催 場 所		川越市役所 第 5 委員会室
議 長（会長） 氏 名		櫻井晶夫副委員長
出席者（委員） 氏名（人数）		櫻井晶夫副委員長 真下英二委員 佐藤保雄委員 栃原綾子委員 野本吉憲委員 藤井美登利委員 米原民子委員 柳内邦章委員 山下利一委員（9名）
欠席者（委員） 氏名（人数）		遠藤克弥委員長 （1名）
事 務 局 職 員 職 氏 名		地域づくり推進課 課長 福釜周二 副主幹 高橋宗人 副主幹 熊谷真一 主任 森裕美
傍 聴 者 人 数		なし
会 議 次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 （1）令和 6 年度協働委託事業に係る実施団体の決定について （2）令和 6 年度提案型協働事業補助金（通常審査分）の採択について （3）その他 4 閉会	
配 布 資 料	別 紙・・・次第 資料 1・・・令和 6 年度協働委託事業の審査集計一覧 資料 2・・・川越市協働委託事業審査基準 資料 3・・・協働委託事業にかかる委員からの所見 資料 4・・・令和 6 年度提案型協働事業補助金（新規事業）の審査集計一覧 資料 5・・・川越市提案型協働事業補助金審査基準 資料 6・・・令和 6 年度提案型協働事業補助金（継続事業）一覧 資料 7・・・提案型協働事業にかかる委員からの所見 資料 8・・・令和 6 年度提案型協働事業実施日時予定表	

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	開 会 1 4 時 0 0 分
	1 開 会
副 委 員 長	2 副 委 員 長 あ い さ つ
	会 議 の 成 立
	市 協 働 事 業 審 査 委 員 会 条 例 第 5 条 第 2 項
事 務 局	会 議 の 傍 聴 ⇒ 傍 聴 不 可
	理 由 : 協 働 委 託 事 業 の 実 施 団 体 の 決 定 、 提 案 型 協 働 事 業 の 団 体 採 択 及 び 各 事 業 審 査 に お い て 自 由 活 発 な 意 見 交 換 を 確 保 す る た め
事 務 局	3 - 1 令 和 6 年 度 協 働 委 託 事 業 に 係 る 実 施 団 体 の 決 定 に つ い て
	集 計 結 果 、 委 員 か ら の 所 見 の 説 明
	中 間 点 2 4 0 点 を 下 回 る 事 業 な し
	同 一 項 目 に お い て 2 人 以 上 の 審 査 員 が 1 点 と し た 事 業 な し
	⇒ 審 査 の 対 象 外 と な る 事 業 は な し
副 委 員 長	(1) か わ ご え エ コ ツ ア ー
	所 管 課 : 環 境 政 策 課 団 体 : 福 原 フ ァ ー ム ク ラ ブ
	非 常 に 良 い 企 画 な の で 予 算 を 増 や し て 参 加 人 数 を 増 や す よ う に し て 欲 し い 。 雨 天 の 場 合 は と も か く よ く 内 容 は 練 ら れ て い る 。
	予 算 に 人 件 費 は 計 上 さ れ て い る が 、 ボ ラ ン テ ィ ア 的 な 面 が 大 き い の で も と っ と 値 上 げ し て 欲 し い 。
委 員	公 共 事 業 な の で 県 も 他 市 も 市 民 と 協 働 委 託 事 業 を や る と き の 予 算 の 人 件 費 な ど は 見 て い る 。 他 所 か ら も 見 ら れ て い る こ と を 意 識 し て 団 体 と 協 働 し て 欲 し い 。

副委員長	下見にも行っていて当日だけではないのである程度の人件費は入れても良いと思う。
委員	マイクロバス2台にはできないのか。
副委員長	予算上難しい。狭い道もあるのでマイクロバスしか使えない場所も多々ある。人数を増やすにはバスを増やすことになり、そうすると予算が倍になる。
委員	事業実施前の方が人件費はかかる。それをどこまで出すのか、チェックが難しい。他市では人件費の算定方法はあるのか。
委員	そのような形で何か提示しないと行政はわからないが、他の規模が大きい委託事業では全てまとめてそのうちの2割を事務費とするところもある。それが協働委託かはわからない。他市の協働委託のやり方を研究すべき。
委員	ゼロじゃない形で出せば良い。実施当日プラス下見などの事前作業をどの程度見るのか、他市の事例を調べて欲しい。
副委員長	子育て情報誌はスタッフ人件費で13万9千円計上されている。それがどういう根拠で計上されているのか。そういったものも参考に考えて欲しい。
委員	良い事業なので開催回数を増やして欲しい。予算がないと難しいかもしれないが、途中からでも増やせるようなことを団体に投げかけたらどうか。
委員	相談はできると思うが、予算の問題もある。
委員	この団体は環境ネットワークの過去の実績があり、知見があるからこの形でできている。
副委員長	全面的に見直す必要があると思う。バスの使用料も6万6千円でできるのか。
委員	福原ファームの他にやれそうな団体はあるのか。
副委員長	過去には福原ファーム以外の団体もやっていたことがある。

委員	人件費の件について団体が人件費を申請してくるのに認められないのか。
事務局	人件費について詳細はわからないが、ヒアリングの際は「もらいすぎても、という気持ちもあるが、予算が増えて謝金が払えれば訪問先は増える可能性がある」という旨の話をしていた。
副委員長	＜福原ファームクラブを実施団体として決定＞ （２）子育て情報誌作成 所管課：こども政策課 団体：NPO 法人川越子育てネットワーク 行政・企業・団体と３者でやるようになって変わってきた。ページ数が限られているのでこれしか書けないとも考えられる。川越の人々は減ってきていて高齢者が増え、税収も減ってくる。流山市は３０代４０代が多く将来の担い手が育っている。行政は各地域の子育てに取り組んでいる状況をまとめて報告して欲しい。子育ては皆で協議をしないとなかなか良い方向にいかない。情報誌はうまくまとまっている。 ＜NPO 法人川越子育てネットワークを実施団体として決定＞
事務局	３－２ 令和６年度提案型協働事業補助金（通常審査分）の採択及び継続事業の意見について 集計結果、委員からの所見の説明 中間点２８８点を下回る事業なし ⇒審査の対象外となる事業はなし 継続事業を含めた１１事業の補助金額は今年度予算の範囲内 <u>新規事業</u> （１）川越リージョナルウィンドオーケストラ特別演奏会 団体：川越リージョナルウィンドオーケストラ 所管課：文化芸術振興課

委員	プレゼンテーションの際、既にSNS上で参加希望者が50人以上いると言っていた。潜在的な人の掘り起こしになるので、音楽をきっかけに市民活動に踏み出すことを考えればコミュニティづくりにもよいと思う。おもしろい試みだと思う。
副委員長	南古谷ウィンドオーケストラをやっていて、3つの中学校の生徒の希望者を東邦音大に招いて学生や教授に指導してもらっていた。それが軌道に乗るまで5年かかった。親や学校の後援がないとできない。楽器のレンタルや楽器の運搬の問題がある。これが実現すれば色々な音楽団体が連携しながらウェスタ川越で新しい文化の創造ができれば良いと思っていたが、これだけだと難しい。参加費(社会人2万円、学生1万円)はいくらウェスタ川越の小ホールを使って練習するとしても結構な金額になる。また、本当に川越市にこういう団体に所属して吹奏楽をやりたい人がそんなにいるのか。川越市には既に吹奏楽団がある。
委員	既存の埋もれているものを掘り起こすという観点から見ると非常に意義深いと思う。認知されてここで自分のレベルが上がるなどないと自分から入っていきこうとならない、3年間やってみてもらって、長い目で見る必要があるかもしれない。
委員	埋もれている人を集めて楽団をつくり文化的な川越市の発展に寄与するという大義名分は素晴らしい。その結果誰が喜ぶのか、掴みどころがない。成果発表の時に我々がどんな視点で見たらよいのか。
副委員長	音楽をやりたいという希望はたくさんあると思う。様々な事情でそれができない、特にコロナ禍以降合唱と吹奏楽は厳しかった。理想として言えば川越市民吹奏楽団ができれば素晴らしいと思う。
委員	川越市の音楽をやる人の力になると思う。指導し、育ててい

	く、音楽のまちをつくっていくことは大切だと思う。
委員	中学の吹奏楽では正しい吹き方を知らないままやっていることもある。東邦音大や尚美学園大学と連携をしながら中学生に楽器の正しい吹き方を教えて欲しい。
委員	それは団体の趣旨と違ってくる。対象はかつて吹奏楽をやっていた社会人に演奏の場をつくること。
副委員長	高校生からも希望がくる。だからこそ専門の大学生に正しい楽器の吹き方など基礎を教えてもらいながら曲をつくっていくことになると思う。
委員	現在川越市にはいくつか管弦楽団がある。そういうベースがあって更にもっと（埋もれている人が）いるという状況がわからない。
委員	事業そのものの狙いが、吹奏楽をやりたいけどやる機会がない人の掘り起こしだと思ったが、その中でも出来る人だけ集めて演奏会をやりたいと、自分の目的意識が先に出ている感じがする。楽団に入れなくても能力・趣味等でやってきた人がこういうところで技術・レベルを上げていずれ舞台に立つという形で育成できると良いと思う。
委員	新しく申請した事業を３年間暖かい目で見たい。 <採択決定> （２）川越にプレーパークをつくろう事業 団体：川越にプレーパークをつくろうの会 所管課：こども育成課
委員	埼玉県のこどもの居場所づくり事業のなかに子ども食堂、フードパントリー、学習支援教室に加えてプレーパークも入っている。受け皿がないので川越市にきているかはわからないが、プレーパークをやるところには県から助成金が出る。さいたま

委員	市などは委託の費用を県か市が出すように今後なる方向で県が動いている。
副委員長	学校放課後教室等とのつながりがよくわからない。
副委員長	プレーパークで事故が起きた場合の責任はどこがとるのか。
委員	世田谷が先進事例と言っていたので調べれば出てくると思う。
副委員長	学校教育の中で事故が起これば教育委員会の責任になるが、この場合はその場を離れている。そういう責任は保険で適用するのか、所管課に確認したい。
委員	今、(川越市のプレーパークに) 市外の団体を派遣しているようだが、この事業をきっかけにプレーワーカーとして育った人が川越で仕事として活躍できれば、子育てサークルのひとつの成長版になっていく、その受け皿として期待する。
委員	事業で行う勉強会の後のことはなにも書いてない。今回は勉強会だけ実施するとういことでいいか。
事務局	プレーパークで何かをやるということではなく、勉強会をして、その人たちを増やすということが今回の事業。来年再来年でどうするかということが出てくるかもしれない。
委員	報告会の時はその後の展望を聞きたい。
副委員長	川越市はプレーパークとして考えている場所はあるのか。
事務局	事務局で持っている情報としては、このエリアでやるというのはおそらくない。こどもの城で実験的に実施したと聞いたことがある。
副委員長	受け皿が広いので、うまくいけば委託としてよいと思う。所管課は国からの補助金について知っているのか確認して欲しい。

副委員長	<採択決定> (3) 生きる力と平和の大切さについて共に考える授業 団体：テレジンを語りつぐ会 in 川越 所管課：教育指導課 小学校低学年（１年生）からやってもらいたい。話を優しくして人権やいじめ、平和について幅広く小中学校で話をして欲しい。今人権の問題を考えるには毎日のようにテレビで戦争や事件のニュースを取り扱っている。
委員 事務局	<採択決定> (4) 川越が生んだ漫画家・花村えい子の推しガール総選挙 団体：川越が生んだ漫画家・花村えい子の推しガール 総選挙実行委員 所管課：広報室 スタッフの中に川越の人がいない。 団体の所在地は川越にあり、会員にも川越の人はいるので全くいないわけではない。
委員	広報室のお手並み拝見、楽しみにしている。
委員	投票箱の置く場所など、やっているということをどうやって知らせるかが大事。
副委員長	漫画の聖地は各地にいろいろある。
委員	広報室のやり方によってはそうなる可能性もある。
副委員長	総選挙で決まったキャラクターをどう使うか。広報室に聞いてもらいたい。
委員	川越は漫画アニメの聖地巡礼にはあまり向いてない街。それ以外の強力なコンテンツをたくさん持っているので、そういっ

副委員長	たものに頼る必要性があまりない。どうやっていくのか楽しみ。 川越は一番街の蔵造りと川越祭りで慢心している。今のうちに手を打っておかないとだめになる。
委員 事務局	広報室は何人くらいいるのか。 広報川越を編集する広報編集担当と川越市を発信するシティセールス推進担当があり、今回の事業に関わるのはシティセールス推進担当。
委員	総選挙で結果を発表した後どうしようとしているのか見えないのが残念。決まってから10月11月に何かやるのか、期待感を持って見ている。
副委員長	次のほしおさなえ作品の世界をめぐるスタンプラリーもそうだが、ポスターを掲示するのを蔵造りの街だけでなくウェスタ川越やユープレイス、駅、クレアモールなどいろんなところに貼るべき。そうすれば広く宣伝できる。クレアモールは高校生がたくさん通るので高校生にも知ってもらえるチャンス。宣伝の仕方を考えたほうがいい。 <採択決定> (5) ほしおさなえ作品の世界をめぐるスタンプラリー 団体：學のまち kawagoe 実行委員会 所管課：中央図書館
副委員長	ほしおさなえ作品を何冊か読んだが文章的にもやさしいが芯が通っている感じだった。また、川越を書いている作家はほかにもいる。
委員	新しい協働部署として図書館の可能性が見えたのはよかった。今後博物館など今まで協働してこなかったところにも事務局が目を向けて欲しい。

副委員長	この小説を公民館の図書コーナーに置いてもいいような気がする。
副委員長	来年も花村えい子とほしおさなえが出てくるようであれば話し合ってコラボしてやってみると良いと思う。
	<採択決定>
	<u>継続事業に対する意見</u>
	(1) がくどう igo サポート&キャラバン事業 団体：川越 igo まち倶楽部 所管課：教育財務課、地域教育支援課
副委員長	囲碁を好きな子ばかりでもないと思うのであまり押し付けすぎないようにしてほしい。
	(2) 「仙波の田んぼで季節を感じ、食を味わう」農業振興事業 団体：仙波の田んぼ緑肥の会 所管課：農政課
副委員長	去年のプレゼンでは心配したが、結果的に参加人数も増えてよかった。農家が何件か協力すればグリーンツーリズムもできると思う。
	(3) 川越的場八景蟹ヶ淵再生事業 団体：川越的場八景蟹ヶ淵再生する会 所管課：河川課・環境政策課
副委員長	地域の子ども会育成会と芋ほり等をするのは親も関わってくるのですごく良いと思う。今団体の中心は高齢者が多いので親世代が積極的に関わってくれるようになると良い。
委員	所管課にももっと頑張ってもらいたい。所管課のホームページに市民がやった事例としてビフォーアフターを掲載するなど、所

	管課が発信して欲しい。
副委員長	去年川越エコツアーにここに行ったらと話をしたが、断られたようだ。
委員	道が狭くてマイクロバスが入れないので難しいと思う。
委員	自然を残して、散歩ができるような憩いの場にして欲しい。
副委員長	きれいにしておくと、ごみを捨てない。
	(４) 新宿町五丁目 地域デジタル化
	団体：新宿町五丁目自治会
	所管課：地域づくり推進課
委員	マニュアルを作成する際に、相手の立場に立ってわかりやすいものにして欲しい。
委員	高齢者にもわかりやすいものにして欲しい。
副委員長	回覧はあまりにも不要なものが多い、そういったものはデジタル回覧で良いと思う。ただ自治会はフェイストゥフェイス。地域で親睦を図ることが一番の重要課題。そこはここの自治会長は抜かりなくやっているようなので良いと思う。
委員	マニュアルは誰に向けたマニュアルなのか。
事務局	新しくデジタル化を進めたい自治会に対するマニュアル。
委員	うまくできるかわからないが、その時に自治会をグループ化してグループごとにやり方を案内できるようなマニュアルだと良い。
	(５) 仲町地域交流会活動事業
	団体：仲町青陵会
	所管課：地域づくり推進課
副委員長	自治会の中にマンションができるとマンションの中に入り込

委員	むのは大変。昨年は委員長も視察に行き好評だったとのこと。子どもに馴染んでもらうと大人も馴染みやすい。 他の町内の若手、実働部隊が横のつながりで参加していた。情報交換、交流の手段として有効だと思った。
委員	自治会や旧十ヶ町も同じような課題を抱えているので所管課は広報を応援してあげて欲しい。
事務局	課として注力し、協力していきたい。
副委員長	(5) コミュニティラジオで楽しく防災 団体：株式会社小江戸FM 所管課：防災危機管理室 イベントに子連れの参加者がとても多い、多いのは良いことだがどこで何をやっているのか見えない。 線状降水帯の雨量などを実際のアナウンサーが放送でアナウンスして欲しい。災害時に咄嗟にアナウンスするのは難しい。委託にするのはまだまだ課題が多いが、小江戸FMも委託になってもっと防災危機管理室と連携を密に取りながらやってもらいたい。今年1年どのように実施するのか楽しみ。防災のイベントをやるのは良いがもう少し学べるようにして欲しい。
委員	川越市と小江戸FMは災害時緊急放送に関する協定を結んでいるが、緊急時にどのようにアナウンスするのか。
委員	放送する情報の元はどこなのか。
事務局	情報の元は防災危機管理室。実際にどのように緊急放送のアナウンスをするのかについては防災危機管理室に確認する。 3-3 その他 ・今年度の視察について 今後視察希望調査を行い、次回の会議で各委員の視察先を決

定する。

・ 今後の審査委員会の予定

第 4 回 令和 6 年 8 月 2 日（金）午後 2 時 第 5 委員会室

第 5 回 令和 7 年 1 月中

第 6 回 令和 7 年 2 月 1 0 日（月）午前 1 0 時 ウェスタ川越

5 閉 会

副委員長あいさつ

閉会 1 6 時 2 0 分